

# 滋賀の 伝統的工芸品

Shiga



# はじめに

滋賀県は、琵琶湖を中心として広い平野と変化に富んだ山々に囲まれ、水と緑の豊かな自然環境の中で多くの恵みを受けてきました。また、昔から東西の交通の要衝として人との行き交い、この利点を活かし先進的な産業や独自の文化が発展してきました。

このような自然環境や歴史に育まれ、素朴でありながら優美な伝統的工芸品が数多く作られ、人々の生活に受け継がれてきました。しかし、生活様式の変化に加え海外からの安価な輸入品の増大などにより、伝統的工芸品を取り巻く環境は非常に厳しくなっています。

伝統的工芸品は、私たちの生活のなかで、ゆとりと精神的な豊かさを実現する品々であり、特色ある地域づくりのためにも、その役割が期待されているところです。

県では、伝統的工芸品の振興を図るため、昭和58年度に指定制度を設け、翌59年度に第1次指定を行い、以来、随時指定の見直しを行ってきました。

みなさまの生活に豊かさと潤いを与えるとともに地域経済の発展に寄与する滋賀の伝統的工芸品が多くの人の手に触れ、暮らしのなかで身近なものとして愛着をもってお使いいただくことを願っています。

令和5年3月

滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課

# 目次

## 湖北 9

- 長浜市
  - ・網織紬 ... 10
  - ・楽器糸 ... 10
  - ・鼻緒 ... 11
  - ・特殊生糸 ... 11
  - ・輪奈ピロード ... 12
  - ・提灯 ... 12
  - ・ろくろ工芸品 ... 13
  - ・浜仏壇 ... 13
  - ・鍔金具 ... 14
  - ・和ろうそく ... 35

- 米原市
  - ・近江真綿 ... 14
  - ・上丹生木彫 ... 15

## 湖東 16

- 彦根市
  - ・彦根仏壇 ... 17
  - ・彦根繻 ... 18
  - ・(再興)湖東焼 ... 18

- 愛荘町
  - ・近江上布 ... 19
  - ・秦荘紬 ... 20
  - ・近江刺繍 ... 20
  - ・太鼓 ... 21
  - ・愛知川びん細工手まり ... 21

- 東近江市
  - ・手織真田紐 ... 22
  - ・長村梵鐘 ... 22
  - ・小幡人形 ... 23
  - ・江州よしすだれ ... 23

- 近江八幡市
  - ・押絵細工 ... 24
  - ・八幡丸竹工芸品 ... 24
  - ・木珠(高級木製数珠玉) ... 25

- 竜王町
  - ・木製桶樽 ... 25

## 湖南 26

- 甲賀市
  - ・信楽焼 ... 27
- 野州市
  - ・神輿 ... 28

- 湖南市
  - ・正藍染 ... 28
  - ・近江下田焼 ... 29

- 大津市
  - ・草木染手組組紐 ... 29
  - ・膳所焼 ... 30
  - ・近江雁皮紙 ... 30
  - ・大津絵 ... 31
  - ・いぶし鬼瓦 ... 31

- 守山市
  - ・綴錦 ... 32

## 湖西 33

- 高島市
  - ・高島扇骨 ... 34
  - ・雲平筆 ... 34
  - ・和ろうそく ... 35

滋賀の伝統的工芸品クイズ① ... 3,4

滋賀の伝統的工芸品クイズ② ... 5,6

湖国滋賀と伝統的工芸品 ... 7,8

滋賀県のお祭り ... 15

滋賀を楽しむコンテンツ紹介 ... 32

伝統的工芸品について ... 36

伝統的工芸品一覧 ... 37

伝統工芸士一覧 ... 38



琵琶湖



琵琶湖疏水



滋賀県立陶芸の森



金剛輪寺



白鬚神社



メタセコイア並木



彦根城

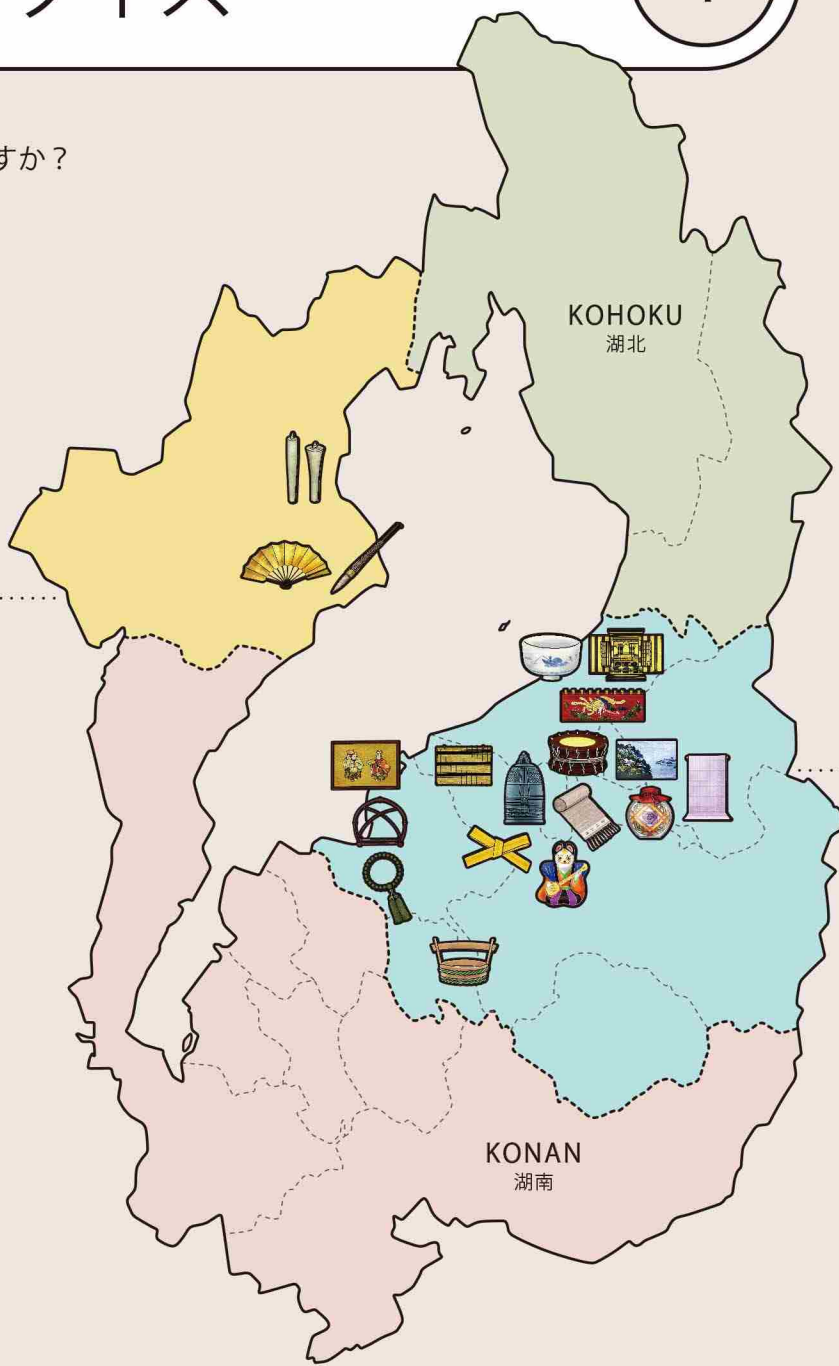
# しが でん とう てき こう げい ひん 滋賀の伝統的工芸品クイズ

1

あなたは滋賀の伝統的工芸品にまつわる秘密をいくつ知っていますか？  
目指せ！クイズで滋賀の伝統的工芸品マスター！  
滋賀の伝統的工芸品クイズに挑戦してみよう！

こたえと  
まめ ち しき  
豆知識

こたえは伝統的工芸品の紹介ページで  
豆知識と合わせてチェックしてみよう！



高島扇骨 (たかしませんこつ)



ほねや  
骨屋さんって  
なんだろう？

雲平筆 (うんぺいふで)



この大きな筆は  
何に使われるのかな？

和ろうそく (わろうそく)



ハゼ蠟のろうそくは  
どうやって太さを  
決めているの？

彦根仏壇 (ひこねぶつだん)



仏壇に貼られている  
きんぱく とうす  
金箔の薄さは？

近江上布 (おうみじょうふ)



近江上布は  
何からできている？  
①絹 ②綿 ③麻

近江刺繍 (おうみししゅう)



近江刺繍って  
本当に絵みたい…！  
実は絵なのかな？

太鼓 (たいこ)



和太鼓の叩くところは  
皮でできているよ。  
何の動物の皮かな？

愛知川びん細工手まり (えちがわびんさいくてまり)



瓶の中でのまりの  
中には何が入っている？  
①空気 ②綿 ③糸

押絵細工 (おしえさいく)



押絵細工は  
何でできている？  
①和紙 ②布 ③実は絵

彦根繻 (ひこねぬい)



どこの都道府県の  
お祭りで使われる山車の  
幕を作っている？

(再興)湖東焼 ((さいこう)ことうやき)



この赤い絵の具は  
何からできている？  
①銅 ②鉄 ③金

秦荘紬 (はたしょうつむぎ)



この「櫛」という道具は  
何に使われる道具？

長村梵鐘 (おさむらぼんしょう)



叩いたときに一番良い  
音がするのは、1秒間に  
何回鐘が振動したとき？

江州よしすだれ (おうしゅうよしすだれ)



よしすだれは、  
何から作られている？

手織真田紐 (ておりさなだひも)



細いもので  
6mm幅の真田紐は  
紐だけど実は「〇〇」？

木珠 (もくじゆ) (高級木製数珠玉(こうきゅうもくせいじゆだま))



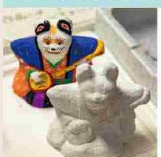
生命樹という木を  
削るととっても良い  
匂い！何の匂い？

八幡丸竹工芸品 (はちまんまるたけこうげいひん)



竹を曲げるには  
どうやって曲げている？

小幡人形 (おぼたにんぎょう)



着色をする前の、  
白い色の下地「胡粉」は  
何からできている？

木製桶樽 (もくせいおけたる)



どうやってこの  
丸い形ができています？

湖南(こなん)、湖北(こほく)のクイズは5・6ページにあるよ！

# しが でん とう てき こう げい ひん 滋賀の伝統的工芸品クイズ

2

あなたは滋賀の伝統的工芸品にまつわる秘密をいくつ知っていますか？

目指せ！クイズで滋賀の伝統的工芸品マスター！

滋賀の伝統的工芸品クイズに挑戦してみよう！

(クイズの答えは伝統的工芸品の紹介ページにあります)

KONAN  
湖南

KOSEI  
湖西

KOTO  
湖東

KOHOKU  
湖北

近江下田焼 (おうみしもたやき)



とつき  
この突起で  
なに  
何ができる？

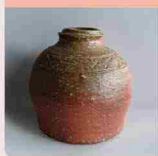


神輿 (みこし)



みこし なか  
お神輿の中には  
なに  
何が入ってるの？

信楽焼 (しがらきやき)



しがらきやき  
信楽焼でどれくらい  
おお  
大きいものが作れるの？

草木染手組組紐 (くさきぞめてぐみくみひも)



たま かわ ぬの  
玉ねぎの皮で、布を  
なにいろ  
染めると何色になる？  
ちやいろ きいろ もいろ  
①茶色 ②黄色 ③桃色

近江雁皮紙 (おうみがんびし)



このくぼみは  
なに  
何のくぼみ？

綴錦 (つづれにしき)



どうぐ なまえ  
この道具の名前は？  
〇〇パス、スペース〇〇  
かんけい  
と関係あるよ！

正藍染 (しょうあいぞめ)



せんりょう あい  
染料の藍が入っている  
あいつぼ えきたい いろ  
藍壺の液体の色は  
なにいろ  
何色？

膳所焼 (ぜぜやき)



ぜぜやき なんと かま  
膳所焼は、何℃の窯で  
や  
焼かれるのかな？

大津絵 (おおつえ)



おに なに こわ  
鬼は何を怖がっている？  
ざくひんめい おに ひらび  
作品名：「鬼と終」

いぶし鬼瓦 (いぶしおにがわら)



かわら わ  
瓦を割ると、  
かわら なか なにいろ  
瓦の中は何色？

上丹生木彫 (かみにゅうもくちょう)



き ほ だいじ どうぐ  
木を彫る大事な道具  
ちようこくとう しまくにん  
「彫刻刀」、職人さんは  
なんぼんも  
何本持ってる？

網織紬 (あみおりつむぎ)



あみおりつむぎ  
網織紬は  
なに いと  
何の糸からできている？

楽器糸 (がっきいと)



つがるじゃみせん ひく おと  
津軽三味線の低い音の  
げん ほん なんぼん  
弦1本には、何本の  
きぬいと つか  
絹糸が使われている？

鼻緒 (はなお)



はなお なに  
『鼻緒』って何のこと？

特殊生糸 (とくしゆきいと)



まゆ かんそう  
繭を乾燥させるときに、  
かんそうあい み  
乾燥具合を見るのに  
は つか  
〇〇の葉っぱを使うよ！

輪奈ピロード (わなピロード)



おだのふなが  
織田信長が  
わな  
輪奈ピロードのマントを  
おく あいて だれ  
送った相手は誰？

提灯 (ちようちん)



ちようちん え か  
提灯に絵を描く  
タイミングはいつ？

鍔金具 (かざりかなぐ)



でんとうてきこうげいひん  
ある伝統的工芸品の  
いちぶ つか  
一部にも使われているよ！  
なに こうげいひん  
何の工芸品？

ろくろ工芸品 (ろくろこうげいひん)



こうげい  
ろくろ工芸で  
つか  
使われる木は？  
①サクラ②スギ③ヒノキ

近江真綿 (おうみまわた)



しん わた か  
真の綿と書く  
「まわた」は、  
なに  
何からできているワタ？

浜仏壇 (はまぶつだん)



ぶつだん ぶひん ぬ  
仏壇の部品を塗る  
うるし  
「漆」のはけの毛は  
なに け  
何の毛？

湖西(こせい)、湖東(ことう)のクイズは3・4ページにあるよ！

# こ こ し が で ん と う て き こ う げ い ひ ん 湖国滋賀と伝統的工芸品

滋賀県は、日本最大の湖、琵琶湖を中心に、  
湖南・湖東・湖北・湖西の4つのエリアに分けられます。

山岳・山地に囲まれたこの滋賀独特の地形がもたらす、  
自然の恵みから生まれた生業はもちろん、  
古来からの大阪や京都の文化・経済との繋がり、  
江戸を繋ぐ街道として、多くの文化・産業が栄えたことが、  
滋賀の優れた伝統的工芸品を生み出しています。

## KOSEI 湖西

### 高島市



高島扇骨 雲平筆 和ろうそく

### 野洲市



神輿

### 湖南市



正藍染 近江下田焼

### 甲賀市



信楽焼

### 守山市



綴錦

### 大津市



草木染手組紐 膳所焼 近江雁皮紙 大津絵 いぶし鬼瓦

## KONAN 湖南



## KOHOKU 湖北

### 長浜市



網織紬 楽器糸 鼻緒 特殊生糸 輪奈ピロード



提灯 ろくろ工芸品 浜仏壇 鋳金具 和ろうそく

### 米原市



近江真綿 上丹生木彫

## KOTO 湖東

### 彦根市



彦根織 (再興)湖東焼 彦根仏壇

### 愛荘町



近江上布 秦荘紬 近江刺繍 太鼓 愛知川びん細工手まり

### 東近江市



手織真田紐 長村梵鐘 小幡人形 江州よしすだれ

### 近江八幡市



押絵細工 八幡丸竹工芸品 木珠(高級木製数珠玉)

### 竜王町



木製桶樽

# KOHOKU 湖北

長浜市・米原市

東海地方や北陸地方との境の地域で日本百名山のひとつである伊吹山や、関西百名山の金糞岳(かなくそだけ)があり、雪解け水からの恵みを受け、養蚕業(ようさんぎょう)、またそれに関わる生糸製糸、織物といった一連の絹産業が盛んに行われています。戦国武将の豊田秀吉が長浜城・城下町を北国街道の宿場町として整備し栄えたほか、戦国時代の遺跡も多く残っています。ノスタルジックな町並みの黒壁スクエアは人気の観光スポットとして知られています。



## 体験・見学施設等

1 長浜市曳山博物館  
長浜市元浜町14-8  
TEL:0749-65-3300  
浜仏壇 / 提灯

2 醒井木彫美術館  
米原市醒井 95  
TEL:0749-54-0842  
上丹生木彫

3 浅井町歴史民俗資料館  
長浜市大依町528  
TEL:0749-74-0101  
特殊生糸



## あみ おり つむぎ 網織紬 長浜市

### 絹の漁網から生まれた 独特の質感を持った織物

養蚕が盛んだった湖北地域では、琵琶湖の漁師が使う漁網にも絹糸が使われていました。使い古した漁網を糸にして織り込んだのが網織紬です。普段着や野良着として、江戸時代中期から製作されるようになりました。絹糸を経糸(たていと)に、漁網から作ったヒゲ状の糸を緯糸(よこいと)にして織っています。漁網の目に1つ1つ手作業ではさみを入れて切り離し、ヒゲ状になった糸を紡いで1本の長い糸に戻します。ヒゲの独特の風合いと質感が特徴的で、根強いファンに愛されています。今では絹で出来た漁網が珍しくなっているため、網織紬のために漁網を絹で編んでもらい、昔と同じ製作工程にこだわって製作しています。

### こたえと豆知識

さかな と あみ  
A. 魚を取る網  
びわこ さかな と あみ き  
琵琶湖の魚を取る網を切って、  
むかし ほん いと つか  
昔は1本の糸にして使っていたよ。

- 奥田 武雄：〒526-0206 長浜市郷野町519 TEL:0749-76-0733
- 奥田 重之：〒526-0206 長浜市郷野町512 TEL:0749-76-0369
- 一般販売は行っていません。
- 詳しくは上記へお問い合わせください。

## がっ き いと 楽器糸 長浜市

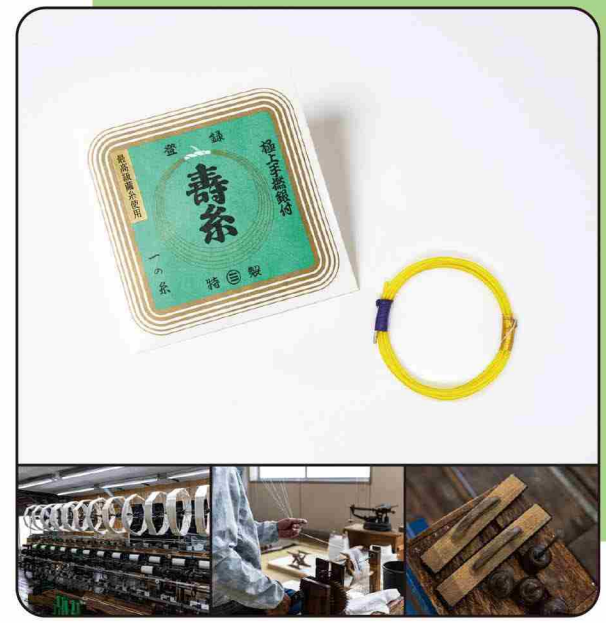
### すべて手作業 最高の響き・余韻を生む

この長浜の地で楽器糸の生産が始まったのは明治時代後半といわれています。絹糸に含まれる天然成分が糸を切れにくくし、音の響きや余韻を生みます。糸づくりでは、天然成分を逃さないよう、機械に任せず、人の手で繭を煮ながら糸を繰り出していきます。生糸は種類や産地によって太さが異なるため、10~25本の繭糸を集める必要があります。その糸を、独楽(こま)を使って楽器ごとの規定に合わせて撚(よ)っていきます。職人の繊細な手作業が、楽器に合わせた最高の音質を生んでいるのです。もとは三味線・琴・琵琶といった和楽器向けでしたが、アジアの伝統楽器など、今や400種類以上の楽器に使われています。人間国宝をはじめ、名だたる音楽家たちから高い評価を受けています。

### こたえと豆知識

やく ほん  
A. 約3,500本  
かみ け ほそ きぬいと あつ  
髪の毛より細い絹糸をたくさん集めて、  
しよぶ つがるじやみせん いと  
丈夫な津軽三味線の糸をつくっているよ。

- 西山生糸組合  
〒529-0433 長浜市木之本町西山825 TEL: 0749-82-4114
- 木之本町邦楽器原糸製造保存会  
〒529-0431 長浜市木之本町大音975 TEL: 0749-82-2935
- 丸三ハシモト株式会社  
〒529-0425 長浜市木之本町木之本1049 TEL: 0749-82-2167
- 直接販売は行っていません。全国の小売店(三味線屋、琴屋等)にお問い合わせください。



動画 QRコード



はな お  
鼻緒

長浜市



### 履いた後の美しさも計算されている 本物の『鼻緒』

昭和30年代、絹糸産業で知られていた長浜市において、全国の約7割もの鼻緒が市内で生産されていました。鼻緒は、つくる細さに合わせ生地を裁断し裏返しにして直線で縫います。草履を履いた時に鼻緒の柄が美しくなるよう、左右の柄をあらかじめ計算し裁断し縫っていきます。縫製した生地を裏返し、芯となる綿(わた)などを入れる芯引き(しんびき)といった工程を経てでき上がります。芯引きは、履き心地に直接影響してくるため、しわがよらないように横緒の中に1本1本丁寧に通します。近代は、伝統的な和柄だけではなく新しい意匠、素材にも挑戦し多種多様な製品開発に取り組んでいます。

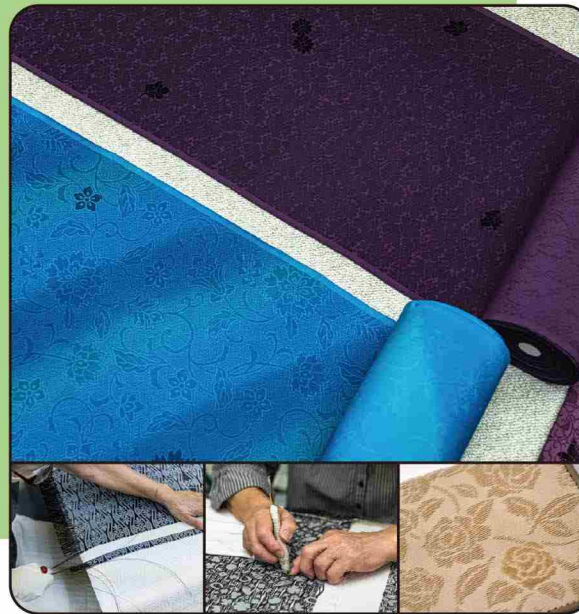
こたえ  
と  
豆知識

ぞうり げた あし ひ びも ぶぶん  
A. 草履や下駄の足を引っかけの紐の部分  
ぞうり げた  
草履や下駄は  
鼻緒が無いと歩けないね。

滋賀県花緒サンダル組合 (原田和装株式会社方)  
〒526-0032 長浜市南高田1-40  
TEL:0749-62-1162



ホームページ  
QRコード



わ な  
輪奈ビロード

長浜市



### 軽さとなめらかな手ざわり 織田信長が愛用した逸品

輪奈ビロードはポルトガルより伝わり、1650年頃から日本で作りられるようになりました。江戸時代に織り方が長浜へと伝えられ、彦根藩の特権を受けて繁栄したといわれています。「輪奈(わな)」とは、タオル生地のパイルのような生地表面の凹凸のことです。この凹凸を小刀でカットする「紋切り」によって毛羽立たせていくことで、フワフワとした手触りになります。一反の生地には約15,000本もの芯材が織り込まれており、これを抜く「針抜き」にも高い技術が必要です。パイル状になっているので、軽くて暖かいのが特徴です。

こたえ  
と  
豆知識

うすぎけんしん  
A. 上杉謙信  
おだのぶなが おく あか  
織田信長が送ったとされる赤いマントが  
やまがたけん うすぎじんじや ほうのう  
山形県にある上杉神社に奉納されているよ。

株式会社タケツネ  
〒526-0056 長浜市朝日町36-20  
TEL:0749-62-0310



ホームページ  
QRコード

とく しゅ き いと  
特殊生糸

長浜市



### 桑の葉から育てる 強度に優れた美しい糸

草野川沿いは、雪解け水がもたらす良質な地下水が豊富だったため、滋賀県内有数の養蚕地でした。蚕の餌である桑から育て、夏秋の葉は硬くなります。葉の硬さによって、糸の硬さが決まるため季節で用途が異なり、春糸は三味線や琴に、秋糸は能装束の原糸として使われています。1つの繭から取れる糸は1500mほどで、繭をほどくと1本に繋がっています。お湯の中に繭玉を入れて糸口を手繰り寄せ、数本を束ねて糸を巻きとっていきます。糸の太さに違いがあるので、均等な糸になるよう、職人は目と手先の感覚を研ぎ澄ませて糸を合わせています。強度と伸度に富む、優美な光沢のある糸です。



西村 英雄

〒526-0207 長浜市太田町108-1  
TEL:0749-76-0236

直接販売は行っていません。  
詳しくは上記へお問い合わせください。

こたえ  
と  
豆知識

つばき は  
A. 椿の葉っぱ  
まゆ いっしょ い は かんそう く あい  
繭と一緒に入れた葉っぱの乾燥具合で  
まゆ かんそう く あい はか  
繭の乾燥具合を計るよ!

ちよう ちん  
提灯

長浜市



### 長浜の祭りを彩る 美しい手描き提灯

人々の暮らしに古くから親しまれ、日本三大山車祭「長浜曳山祭」にもかかせない提灯。湖北地方では、かつて嫁入り道具として提灯を手に近所を回る風習「嫁入り提灯」がありました。紙の覆いをした「火袋」という部分に文字や絵を描く「紋入れ」は、熟練の技により下書きをせず、一つ一つ丁寧に製作されています。屋外利用も多い提灯は雨に濡れても傷まないよう、表面に油を塗り、最後に竹の取っ手などを取り付け完成。近年では、紋や絵を先に印刷した紙を提灯の表面に貼るものもありますが、張り合わせた際に、絵がずれてしまうことが多く美しい提灯にはなりません。手描きの提灯だからこそ、ずれの無い美しい提灯ができあがります。

こたえ  
と  
豆知識

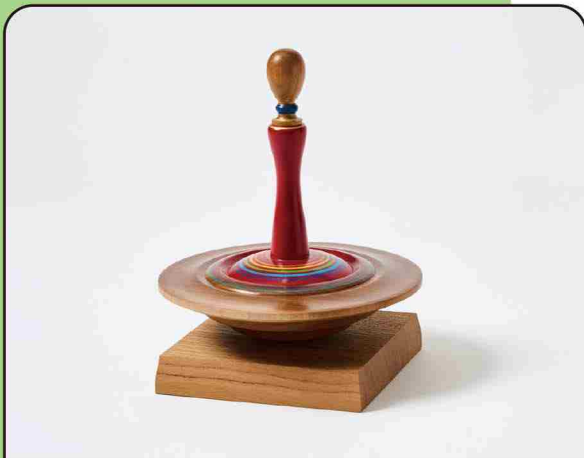
ほねぐ わし は お あと  
A. 骨組みに和紙が貼り終わった後  
かみ か は  
紙に書いてあるものを貼るのではなくて、  
組み上がってから最後に絵を入れるよ。



かさぜん 中川 澄美

〒526-0059 長浜市元浜町14-20  
TEL:0749-62-1187

新作依頼・修理については上記へお問い合わせください。



## ろくろ<sup>ろう けい ひん</sup>工芸品

長浜市

### 100本の刃物を使い分けて生まれる 美しい木工品

ろくろで木材を回転させ、専用の刃物で削り出した木材加工品です。さくらやケヤキなど、木の性質に合わせてろくろの回し方を調整します。木材は地元のものにこだわり、100本以上の刃物を使い分けて、丁寧に削り出しています。1本の木から生まれる継ぎ目のない美しい品は、熟練の技術なくして出来ません。茶びつ・丸盆・茶托・茶筒・ぐいのみ・独楽(こま)など、製作物は幅広く、要望に合わせて種類が増えています。近年はカラフルな色合いの「いろ色浜独楽」が人気で、お土産として喜ばれています。温かな手触り、使い込むほど味が出てくる風合いは木材ならではの味わいです。



片山木工所  
〒526-0023 長浜市三ツ矢町7-7  
TEL:0749-62-9804  
県内の道の駅やホテル、サービスエリア、東京の「ここ滋賀」で購入できます。工房見学は随時受付中です。事前にご連絡ください。



ホームページ  
QRコード



動画  
QRコード

## こたえと豆知識

**A. 全部**  
かたきやわきしよくん  
硬い木も柔らかい木も職人さんが削ればすくきれいに削れるよ!

## 浜仏壇

長浜市

### 白木の彫刻が美しい 国内最大級の大きさを誇る仏壇

国内の仏壇の中でも最大クラスの大きさを誇ります。接着剤・釘などを一切使用せず、すべて釘などを使わないほぞ組みで作られているため、修理・修復の際にはすべて分解できる仕組みです。彫刻部分は檜(けやき)、もしくは桧(ひのき)の丸彫で、白木(しらぎ)のまま使用されています。彫刻部に装飾の金箔を使用しないため、木目の美しさが生かされると同時に、より高い彫刻の技術が求められます。製作は分業制で、6~7人の職人の手で作られています。彫り物・蒔絵・鍔(かざり)金具など、どの工程にも高い技術を誇り、日本最高級クラスの仏壇といわれます。浜仏壇の技術がユネスコ無形文化遺産の「長浜曳山祭」の山車(だし)に使われています。



浜仏壇工芸会  
〒526-0052 長浜市神前町11-29  
TEL:0749-62-2414  
各仏壇店にて販売しています。



## こたえと豆知識

**A. 人の髪の毛**  
むかしじょうぶいた  
昔から、丈夫で傷みのない、まっすぐでコシのある女性の髪がよいとされてるよ!



## 鍔金具

長浜市

### 長浜の歴史と文化「曳山」の 技術を活かした鍔金具

長浜の鍔金具は、曳山の伝統的技術を活かして作られるもので、江戸中期以降、浜仏壇とともに確立されてきました。毛彫り、地彫り、高肉彫り、象嵌(ぞうがん)などの彫金、金箔焼付鍔金(きんぱくやきつけめっき)、金鍔鍔金(きんけしめっき)、宣徳煮色(せんとくたきいろ)などの鍔金の技法が用いられます。



## こたえと豆知識

**A. 浜仏壇**  
しがでんとうてきこうけいひん はまぶつだん  
滋賀の伝統的工芸品 浜仏壇の  
装飾品としても使われているよ。

辻清(金泉堂)  
〒526-0058 長浜市南呉服町2-11  
TEL:0749-62-3368



## 近江真綿

米原市

### 軽くて温かい これこそ“真の綿”

真綿とは、繭を引き延ばして作った綿のことです。米原市多和田は耕地が少なく、副業が必要だったことからこの地で生産されるようになったといわれています。水を張ったタライに繭を入れ、真ん中に「下馬(げば)」という木枠を立てかけて茹でた繭を1つ1つほぐして伸ばし、引っかけていきます。乾燥して1枚の布のようになったものを職人が2人で持ち、均一の厚さになるよう引き延ばし重ねたものが布団の中綿になります。1キロの綿を作るのに、2,500~3,000個の繭を使い、真綿を重ねる数は600回以上になることもあります。こうして、吸湿性に優れ、蒸れにくく、軽くて温かい真綿布団ができあがります。



## こたえと豆知識

**A. 絹のワタ**  
しよくぶつ くべつ ほんもの  
植物のワタと区別するため、本物のワタ  
→真の綿→真綿になったよ。

近江真綿振興会(近江真綿工房 原田方)  
〒521-0081 米原市多和田1759  
TEL:0749-54-0672  
ネットショップや、小売店で  
購入することができます。



ホームページ  
QRコード



動画  
QRコード





かみ にゆ う もく ちよう  
上丹生木彫

米原市

立体的な彫りが圧倒的な  
迫力を感じさせる木彫り

米原市上丹生は、山の谷間で耕作地が少なく、古くから林業が盛んだったことから、「木彫の里」として知られています。千本近くもあるノミや彫刻刀を、木の質や工程によって使い分けて彫っていきます。仕上げの研磨は行わないため、ノミで彫った跡の力強さを感じる、迫力ある作品になります。欄間(らんま)用の作品は下から見られることを意識して、作品が斜め下に突き出るように、立体的に木を重ねて彫られています。もとは神社仏閣の欄間などの建築彫刻が中心でしたが、祭りの山車(だし)の彫刻や表札等の住宅装飾にも使われ、近年では小物やアクセサリなども制作しています。木で彫ることができるものはなんでも彫れるところが特徴です。

上丹生木彫組合

〒521-0033 米原市上丹生576  
TEL:0749-54-0267

職人から指導を受けて作品を作る「弟子入り  
体験」も行っています。お問い合わせください。



ホームページ  
QRコード

こたえ  
と  
豆知識

A. 300~400本  
たくさんの彫刻刀の種類を使い分けて、  
立体感ある木彫を作っているよ。

滋賀県のお祭り

祭りをはじめとする歴史文化と伝統行事には、伝統的工芸品の技術はなくてはならない存在です。滋賀県内のお祭りではたくさんの伝統的工芸品、またその技術を目にすることができます。



長浜曳山祭(長浜市) 4月

日本三大山車祭のひとつ、平成28年ユネスコ無形文化遺産にも登録された、長浜八幡宮の祭りです。滋賀の伝統的工芸品の提灯、高島扇骨(扇子)はもちろん、浜仏壇の技術を使った舞台付曳山も見ることができます。(高島扇骨・浜仏壇・提灯)



日吉山王祭(大津市) 4月

日吉大社の祭礼で、湖国三大祭のひとつで、4月12日~15日の4日間行われます。13日に行われる「宵宮落し(よみやおとし)」では、神輿を激しく前後に揺り動かす熱気のある祭りのシーンが見られます。(神輿)



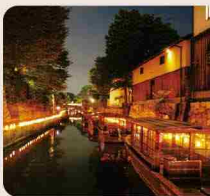
万灯祭(多賀町) 8月

古くから「お多賀さん」の名で親しまれる犬上郡多賀町にある多賀大社の祭りです。全国各地から寄せられた1万数千灯を越す提灯が飾られるお祭り。夜になると、灯りのともった提灯の美しさが一層際立ちます。(提灯)



大津祭(大津市) 10月

湖国三大祭りのひとつで、彦根繻をあしらった、絢爛豪華な13基の巨大な曳山が丸1日かけて街中を練り歩きます。祭りで使われている扇子は曳山ごとに違い、見物です。(高島扇骨・彦根繻)



八幡堀まつり(近江八幡市) 10月

時代劇のロケ地としても知られる、近江八幡市にある八幡堀で、情緒ある街並みに、竹やぐらやろうそくに数千の灯りがともされます。その景色はとても幻想的です。(八幡丸竹工芸品)



信楽陶器まつり(甲賀市) 10月

年に一度の信楽焼最大の陶器市。狸の置物はもちろんのこと食器、傘立て、植木鉢、睡蓮鉢など、陶器なら何でも揃います。全国から大勢の陶器ファンが集まります。(信楽焼)

KOTO 湖東

彦根市・愛荘町・東近江市・近江八幡市・竜王町・日野町・甲良町・多賀町・豊郷町

彦根城や安土城、八幡山城を中心に近江商人の町として栄えた湖東エリアは、琵琶湖がもたらす豊かな自然とともに、伝統文化も栄え、数多くの伝統的工芸品があります。日本紅葉の名所100選に選ばれた湖東三山など多くの歴史的建造物や伝統文化が残っています。

彦根繻 (再興)湖東焼  
彦根仏壇  
押絵細工  
八幡丸竹工芸品  
木珠(高級木製数珠玉)  
近江上布  
秦荘紬  
近江刺繍  
太鼓  
愛知川びん細工手まり  
手織真田紐  
長村梵鐘  
小幡人形  
江州よしすだれ

体験・見学施設等

1 愛荘町立歴史文化博物館  
愛知郡愛荘町松尾寺878  
TEL:0749-37-4500  
彦根繻

2 彦根城博物館  
彦根市金亀町1-1  
TEL:0749-22-6100  
湖東焼

3 るーぶる愛知川  
愛知郡愛荘町市895-3  
TEL:0749-42-8444  
愛知川びん細工手まり



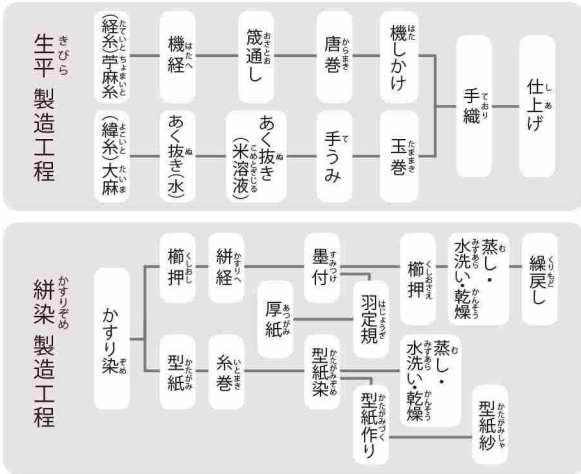
おう み じょう ぶ  
近江上布

愛荘町



自然の光沢が美しい  
「幻の上布」

滋賀県の湖東地域は、室町時代から続く麻織物の産地です。経糸(たていと)に苧麻(ちょま)糸、緯糸(よこいと)は手績み(てうみ)の大麻(おおあさ)糸が使用された最高級の麻布を「近江上布」といいます。手績みはとても根気のいる作業で、1日で作れるのはわずか10グラムほどです。製織には、経糸を腰に結び、手と腰など自分の体を織り機の一部として織る「地機(じばた)」を用います。麻は切れやすいため、熟練の技術が欠かせない、とても繊細な作業です。爽やかな風合いと上品な拵(かすり)模様、そして着心地の良さが近江上布の特徴です。「幻の上布」と呼ばれ、江戸時代には将軍家への献上品とされていました。



● 滋賀県麻織物工業協同組合  
 〒529-1331 愛知県愛荘町愛知川132-2  
 TEL: 0749-42-3246  
 ● 公式オンラインショップで様々な商品を購入可能です。地機を使った機織り体験も行っています。



こたえと豆知識

A. ③麻  
 麻の繊維を1本1本手で裂いて糸をつくって、織り上げられたものだよ。



はた しょう つむぎ  
秦荘紬

愛荘町

カラフルで細やかな模様  
 柔らかな手触りは絹ならではの

近江商人により全国に名を馳せた近江上布の優れた技法を絹織物に応用し、丹念に織り上げたものが「秦荘紬」です。まず図柄案を作成し、それをもとに染色する部分を示す羽定規を作ります。木の枠に、平らな糸面を作るように糸を慎重に巻き、この糸面に染料を付けた櫛を押し付けるようにして染色していきます。この独特の染色法によって、カラフルで細やか、滲むように柔らかな拵(かすり)模様が生まれます。伝統を守りつつ、図案を現代風にアレンジしたり、拵の大きさや色を変えてみたりと、時代に合った柄を生み出し続けています。熟達の職人による独自のデザインが、秦荘紬を一層魅力的なものにしています。

こたえと豆知識

A. 染色  
 櫛をスタンプのように押しつけて染める、櫛押し捺染という技法だよ！

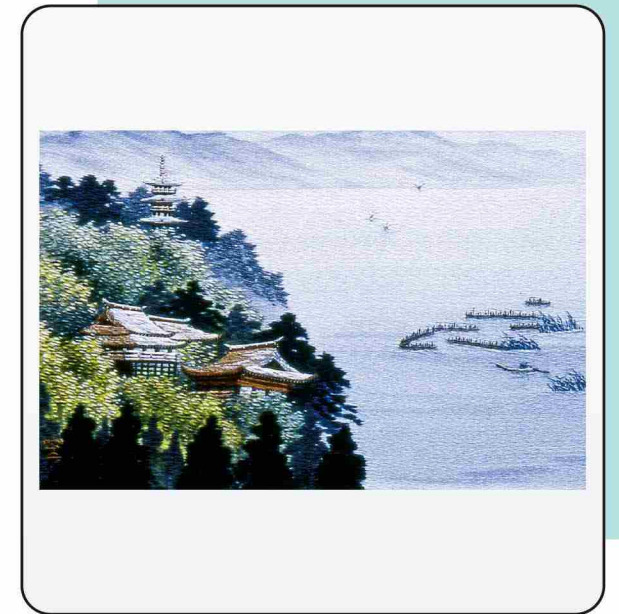
● 川口織物有限会社  
 〒529-1212 愛知県愛荘町元持576-2  
 TEL: 0749-37-3091  
 ● 一般販売は行っていません。  
 ● 詳しくは上記へお問い合わせください。

おう み し しゅう  
近江刺繍

愛荘町

美術刺繍としての至高  
 絵に見紛うほどの近江刺繍

明治時代に入谷佐太郎氏が優れた刺繍技術である近江美術刺繍を考案しました。刺繍織りという特殊な織り生地の上に絵を描くことで刺繍を施したように見せ、主要部分のみ刺繍をして仕上げられたものです。



こたえと豆知識

A. 絵と刺繍の両方  
 布に絵をいかいたり、刺繍したり、絵と刺繍が合体したものだよ！

● 近江美術刺繍芸社  
 〒529-1313 愛知県愛荘町市1312-14  
 TEL: 0749-42-2686





たいこ  
太鼓

愛荘町



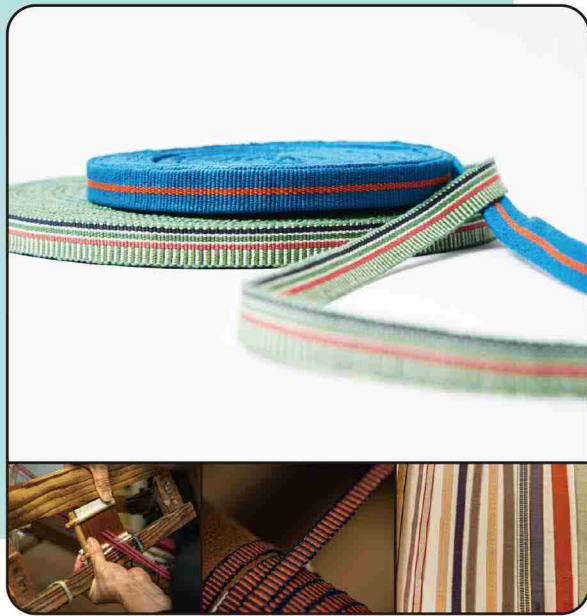
美しい音が鳴り響き、  
何十年も壊れないのが本物の太鼓

石灰分を多く含んだ良質な愛知川の地下水は皮の鞣(なめ)しに最適で、太鼓制作は江戸時代に始まったとされています。太鼓の皮には、若い雌牛の皮が最適です。皮が傷みにくい冬場に、川の水にさらしながら1か月かけて鞣(なめ)し、脱毛して自然乾燥させます。化学薬品を使って鞣された皮は5年ほどで破れてしましますが、昔ながらの鞣し方をするると30～40年も長持ちし、音もとても良いものです。鞣し終えた皮は、太鼓の胴に張っていきます。張り具合によって全く音が異なるため、長年の経験を持った職人の技術が欠かせません。機械化できる工程がなく、全てを職人の手仕事で行っています。

- 二代目 杉本 才次 (杉本太鼓商)
- 〒529-1301 愛知県愛荘町山川原242-1 TEL:0749-43-5504
- 正木 専治郎 (正木太鼓店)
- 〒529-1301 愛知県愛荘町山川原83-1 TEL:0749-43-3072
- 事前に連絡をいただければ、見学を受け付けています。

こたえ  
と  
豆知識

A. 牛  
牛の皮は、厚くて頑丈。たくさん叩いても破れることはなかなかないよ。



ておりさなだひも  
手織真田紐

東近江市



世界一細い織物といわれる、  
丈夫で美しい手織り紐

大坂の陣で活躍した真田幸村が考案したといわれています。経糸(たていと)と緯糸(よこいと)織った細長く平らな織物で、幅は6ミリ～50ミリほど。世界一細い織物といわれています。緯糸を手でしっかりと打ち込み、圧縮しながら織られるので、伸びにくく丈夫なのが特徴です。古くは刀の下げ緒や甲冑紐、また荷物を縛ったり、重いものを吊るしたりする生活道具としても使われてきました。“茶聖”と呼ばれた千利休は、茶道具入りの木箱に真田紐をかけ、目印にしていたといわれています。現在は、時代に合わせて帯締めやアクセサリなども制作しています。図案はなく、代々受け継がれた見本を基に、日々新しい図案を考え、手織りで作り続けています。

こたえ  
と  
豆知識

A. 織物  
織機で織って作られる  
世界一細い織物といわれているよ!

- 西村 操 (幸道庵)
- 〒527-0082 東近江市上羽田町613
- TEL:0748-22-2652
- 作品は基本的にオーダー制です。
- 詳しくは上記へお問い合わせください。

えちがわ さいくて  
愛知川びん細工手まり



愛荘町

瓶の中にカラフルな手まり  
不思議な姿が愛らしい

丸いガラス瓶の中に、その口よりも大きな手まりが入っています。瓶の中にどのようにまりを入れるのかは秘伝の技。ガラス瓶が丸く、中が良く見えることから、「家族円満」や「仲良く」というイメージにつながり、嫁入り道具などの縁起物として重宝されてきました。まずは球体のまりを作り、そこに刺繍を行います。まりの模様は幾何学模様で成り立っており、等分に線を引き、ピンを打って糸を刺繍していきます。球体に刺繍をするのはかなり難しく、高い技術が必要です。瓶の中に、色とりどりの刺繍を施した手まりが入った姿はなんとも不思議で、とても可愛らしい姿です。保存会が毎月研究会を開き、伝統の継承に務めています。



- 伝承工芸 愛知川びん細工手まり保存会
- 〒529-1313 愛知県愛荘町市1673
- TEL:0749-42-4114 (愛知川びんてまりの館)
- るーぶる愛知川やオンラインショップで購入できます。制作体験も行っていますので、お問い合わせください。



ホームページ  
QRコード



動画  
QRコード

こたえ  
と  
豆知識

A. 綿  
中にはしっかり綿が入ってるよ!  
どうやって瓶に入れるんだろうね…。

おさむら ほんしやう  
長村梵鐘



東近江市

心地良い音を追求する  
職人の技が光る

長町の鑄物の歴史はおおよそ700年といわれ、古くから鑄物師の村として知られていました。鑄型を2つ作り、重ね合わせた時に出来る隙間に溶けた金属を流しこむ「惣型法(そうがたほう)」を用いて制作しています。完成した鑄型に1,300度に溶かした金属を流し込むのですが、このタイミングによって強度や音質が全く違うものになります。人が心地良く聞こえる鐘の音は、1秒間に127回鐘が振動したときといわれており、それを実現できるよう、日々職人たちが技を磨いています。愛荘町の東漸寺をはじめ、奈良の薬師寺、長野県の聖光寺など、全国各地の寺院の梵鐘に長村梵鐘が使われています。また、エルサレムや台湾など、海外にも多く輸出しています。



こたえ  
と  
豆知識

A. 127回  
1秒間に127回振動したときが  
一番良い音とされているよ!

- 株式会社金壽堂
- 〒527-0122 東近江市長町273
- TEL:0749-45-0003
- 基本的には受注生産です。
- 詳しくは上記へお問い合わせください。



お ばた にん ぎょう  
小幡人形

東近江市

400年受け継ぐ型から生まれる  
愛くるしい表情の人形たち

近江商人発祥の地でもある地域で、中山道を往き来する人々に向けて土産物や子供のおもちゃとして人気が高まりました。代々伝わる人形の型に粘土を入れ、乾燥させ、型から粘土を抜き、釜で焼きます。焼いた人形に胡粉を塗り、一筆ずつ彩色して完成します。工程はすべて手作業なので、乾燥から完成までは約3か月かかります。先祖代々受け継ぐ型は400近く。招き猫や福助などの縁起物から、節句人形、玉子売り鶏、三味線を弾く猫、風刺人形など、幅広い種類があります。青やピンクといった鮮やかな原色を使用するのが特徴で、そこに職人が時代に合わせた表情を描いています。干支の人形は、年賀状の切手に何度も採用されています。



こたえ  
と  
豆知識

かいから  
A. カキの貝殻  
しろ したじ うえ  
この白い下地の上から  
カラフルな色に塗っていくよ。

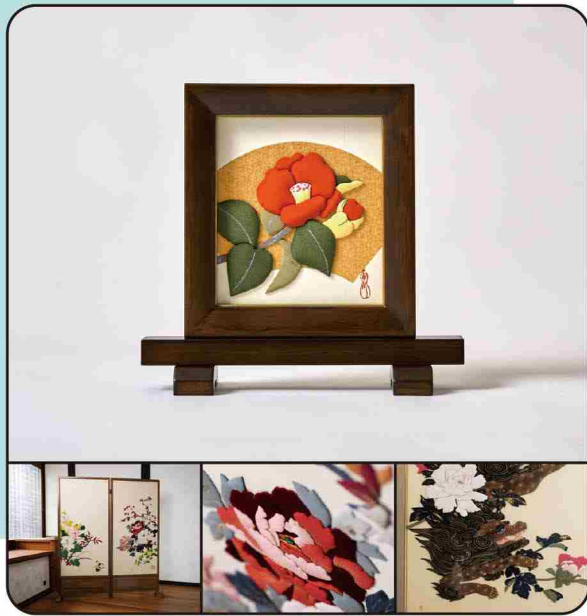
細居 源悟  
〒529-1422 東近江市五個荘小幡町808  
TEL:0748-48-4075  
オンラインで購入可能です。事前予約頂ければ、工房見学も受け付けています。



ホームページ  
QRコード



動画  
QRコード



おし え ざい く  
押絵細工

近江八幡市

ふんわりとした布の厚みと柔らかさが見せる  
華やかさが魅力

八幡押絵は、江戸時代、彦根城の大奥女中が手なくさみに金襴織子長浜ちりめんを使って作ったのが始まりで、その後町屋の子女のたしなみのひとつとして広まったとされています。二代目・東川正蔵の母が学び受け継いだ押絵細工は、下絵を線描きし、その上に綿の布きれを重ね張りし、友禅柄などの彩色がされます。細部にわたる押絵と上絵付により、とても華やかに仕上がります。小箱から衝立までサイズは様々あり、製作に数か月を要する製品もあります。

こたえ  
と  
豆知識

めの  
A. ②布  
めの わた  
布に綿をくるんだ部品を、組み合わせて  
りたいてき え  
立体的な絵のように見せているよ。

東川 雅彦 (東川手芸所)  
〒523-0847 近江八幡市永原町元4  
TEL:0748-32-2254  
店頭にて、展示販売しています。  
詳しくは上記へお問い合わせください。

ごう しゅう  
江州よしすだれ

東近江市

熟練職人が編み上げる  
日本一の品質『江州よしすだれ』

湿地に生息するイネ科の多年草、葦(よし)は、しなやかさと強度が特徴的です。琵琶湖に多く自生していたことから、近江では葦産業が古くから盛んで「すだれ」「屋根」「天井」など、人々の暮らしと共にありました。別名が「あし=悪し」に通ずることから「よし」に通ずる「よし」の呼び名が生まれました。近江八幡の水郷は、日本三大水郷のひとつ「豊葦原(とよあしはら)の里」と言われ、戦国時代には、葦が年貢として納められていたほど日本一の品質を誇っています。熟練の職人がその目と長年の感覚で、1本1本丁寧に選別し手作業で丹念に「すだれ」を編み上げていきます。美しい色味のために、30年寝かせるものもありこだわり抜いた唯一無二のすだれとなります。



株式会社タイナカ  
〒521-1242 東近江市福堂町1426 TEL:0748-45-0336  
よし藤 田井中憲一  
〒521-1242 東近江市福堂町3189 TEL:0748-45-0165  
作品は基本的にオーダー制です。  
詳しくは上記へお問い合わせください。



ホームページ  
QRコード

はち まん まる たけ こう けい ひん  
八幡丸竹工芸品

近江八幡市

竹を美しく加工する技術は、  
50年で一人前

琵琶湖に注ぐ河川沿いには多くの竹林があり、その竹を使った加工品を農家が冬の間の生業としていたのが始まりといわれています。竹は天然のものなので、当然ながら曲がっているものがあります。無理に曲げると縦に割れてしまうため、竹に火をあて、適当な形になるよう徐々に力を加えていきます。竹が焦げてしまわないよう、慎重にゆっくりと過熱・整形。求める形まで整うと、水につけて冷まし、形を固定します。天然の竹は1本ずつ形が異なるため、曲げ加工時の熱の加減がとても難しく、職人は20年以上の経験があってもまだまだ、50年以上でやっと一人前といわれています。竹は軽くて燃えにくいいため、祭りの提灯の一部として依頼が多く寄せられています。



こたえ  
と  
豆知識

たけ ひ  
A. 竹を火であぶりながら曲げる  
ま  
ま 曲げたい所を、火であぶりながら  
ま とろ ひ  
すこ 少しずつ曲げていくよ。

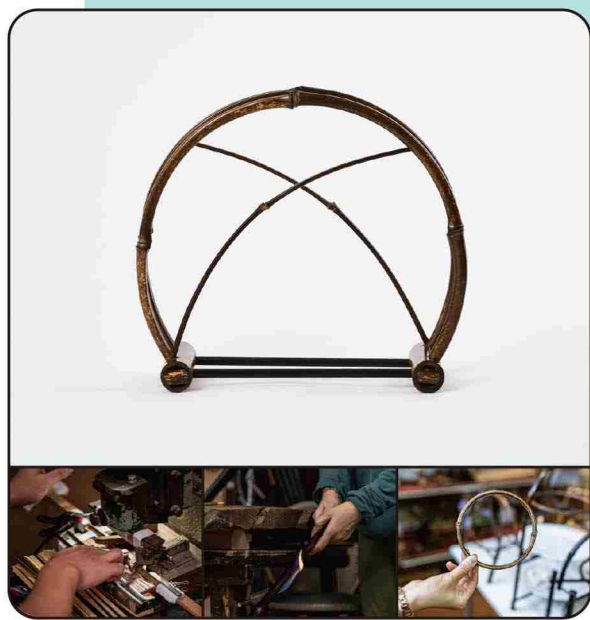
有限会社竹松商店  
〒523-0894 近江八幡市中村町703  
TEL:0748-33-3268  
ネットショップで購入することができます。  
オーダーも受け付けています。



ホームページ  
QRコード



動画  
QRコード





もく じゆ こう きゆう もく せい じゆ す だま  
木珠 (高級木製数珠玉)



近江八幡市

一粒一粒磨き上げられた木の珠は  
宝石のような輝き

木珠とは木製の数珠玉のことで、近江八幡市は、約 1400 年の歴史を持つ木珠製造のふるさとです。聖徳太子の時代に基礎が築かれ、江戸時代に特産品となり、現在でも全国シェアは 70% にのぼります。木珠の素材となるのは、桜などの日本の木から、カラフルな色が特徴な南米産の木まで、世界各地の銘木です。伝統技術を守り続けると同時に、木珠を生活に密着した道具として残していくことを目指しています。そのため、数珠だけでなく、アクセサリやインテリアなど、幅広い商品を生産しています。一粒ずつ丁寧に磨き上げられた珠は、まるで宝石のような美しさです。使い込むほど深い艶が出るため、長く愛用することができます。

株式会社カワサキ  
〒523-0894 近江八幡市中村町690  
TEL:0748-33-5101  
数珠やプレスレットの製作体験を行っています。オンラインショップでも販売しています。



ホームページ QRコード 動画 QRコード

こたえと豆知識

や いも  
A. 焼き芋のにおい  
なんべい き けず か し  
南米の木はカラフルで、削るとお菓子  
みたいなの甘い香りのする木もあるよ!



もく せい おけ たる  
木製桶樽

竜王町

ぬくもりや質感の良さは  
木だからこそ

竜王町において桶・樽が製造され始めた歴史は明らかではありませんが、明治から戦前にかけて当地(旧鏡山村・苗村)では15軒余りが桶・樽づくりをしていたとされています。戦後、プラスチック容器が普及するとともに木桶づくりは少なくなりました。工程の中では特に勾配をつける作業に熟練の技を要します。木の温もりと手作りの温もりが伝わってくる製品です。種類にもよりますが、製作には2~3か月かかるものもあります。



村田 茂明  
〒520-2511 蒲生郡竜王町林569  
TEL:0748-57-0650  
道の駅竜王かがみの里にて販売しています。

こたえと豆知識

もく へん く あ  
A. 木片を組み合わせる  
き けず どうぐ つか  
たくさん木を削る道具を使って、  
しよくにわさ あ まる  
職人技でつなぎ合わせて丸にしているよ。

# KONAN 湖南

甲賀市・野洲市・湖南市・大津市・守山市・草津市・栗東市

東海道・中山道の宿場町・湖上交通の要衝として古くから栄えた地域です。東海道のお土産品として江戸時代人気を博した大津絵、京や江戸への献上品であった膳所焼や雁皮紙、また、大昔の琵琶湖があった古琵琶湖層から取れる良質な粘土からなる信楽焼など、様々な工芸品があります。紫式部が源氏物語を起筆したといわれる石山寺、松尾芭蕉がその景観を好み、墓も建つ義仲寺、日本天台三総本山といわれる比叡山延暦寺、三井寺(園城寺)、西教寺など歴史的建造物も多く、自然・歴史・文化が調和しています。



体験・見学施設等

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <p>1 圓滿院(大津絵美術館)<br/>大津市園城寺町33<br/>TEL:077-522-3690<br/>大津絵</p> | <p>2 びわ湖大津館(旧琵琶湖ホテル)<br/>大津市柳が崎5-35<br/>TEL:077-511-4187<br/>草木染手組組紐</p> | <p>3 十二坊温泉ゆらら<br/>湖南市岩根678-28<br/>TEL:0748-72-8211<br/>近江下田焼</p> |
|---|--|--|

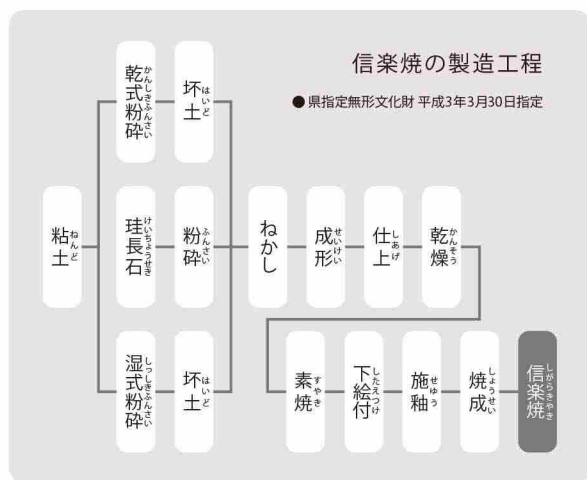
しが らき やき  
信楽焼

甲賀市



素朴な土の風合いが楽しめる  
「日本六古窯」のひとつ

滋賀県甲賀市信楽町周辺で作られる陶磁器で、鎌倉時代に始まったとされる「日本六古窯」の一つです。琵琶湖の400万年前の良質な粘土層から、ほどよい粘り気とコシのある耐火性に優れた粘土が取れたこと、また豊富な燃料があったことから、焼き物が盛んになりました。釉薬を施さず、薪窯で何日もかけて1,200度もの高温で焼き締めます。焼成時の窯の中での位置や炎のまわり具合・温度・土に含まれた成分などの違いで風合いが変わり、様々な表情を楽しむことができます。縁起物のタヌキが有名ですが、食器をはじめ、花瓶・植木鉢・置物・傘立や浴槽・タイルなど、さまざまな種類があります。



こたえと豆知識  
A.2m  
信楽の粘土は、伸びの良さとこしがあるので、大きなものを作ることができます。

信楽陶器工業協同組合  
〒529-1811 甲賀市信楽町江田985  
TEL:0748-82-0831  
各窯元、組合にお問い合わせください。



みこし  
神輿  
野洲市



伝統を継承し培われた  
技の輝きに包まれた神輿

全国の神輿制作を行っている県内唯一の神輿制作会社「さかい」。1994年には日本最大級の神輿(岐阜県高山市)の製作も手がけました。神輿の製造・修理だけでなく、国宝・彦根城や比叡山延暦寺の相輪塔の修繕など、全国各地の寺社仏閣の修繕さまざまな依頼が同社の元にやってきます。頭の中に設計図を描きながら解体修理に当たるといふ、今までの経験のなせる業。天然国産漆100%を用いた漆塗りを現在でも行っていて、数か月でできるものもあれば数年かかるものもあるといわれています。

こたえと豆知識  
かみさま A.神様  
まつとき かみさま みこしの  
お祭りの時は、神様をお神輿に乗せて、  
まちねある  
町を練り歩くよ!

株式会社さかい  
〒520-2331 野洲市小篠原7-1  
TEL:077-587-1178  
詳しくは上記へお問い合わせください。



ホームページ  
QRコード

しょう あい ぞめ  
正藍染  
湖南市



植物から生まれる染料  
同じ色は二度とない美しい藍色

自然に発酵させた藍液を使っている、全国でも数少ない染物です。原料である蓼藍(たであい)の栽培から行っており、刈り取った葉を100日間発酵させ、藍液を作っていきます。藍液の温度によって染まり具合が左右されるため、温度管理はかなり重要です。煮やさず冷やさずの状態を保てるよう、長い経験を持つ職人が目を配っています。染めでは、薄い液から濃い液へと繰り返し染めていき、染めを重ねるごとに、薄藍・藍・紺・濃紺と濃い色になっていきます。天然のものなので、同じ色は二度と作ることができません。こだわり抜いた原材料と製法から生まれる美しい藍色はとても印象的で、全国のデザイナーやアパレル会社から依頼が寄せられています。



こたえと豆知識  
ちやいろ A.茶色  
あいえきたい じつ ちやいろ くうき ほんのう  
藍の液体は実は茶色。空気と反応することで、きれいな藍色になるよ!

植西 恒夫 (紺喜染織)  
〒520-3201 湖南市下田1530-1  
TEL:0748-75-0128  
オリジナルハンカチの藍染め体験など、ワークショップを行っています。事前にご予約の上、お越しください。



おう しも だ やき  
近江下田焼

湖南市

素朴な柄と深い藍色が伝える  
伝統と新しさ

1750年頃に生まれたとされる下田焼は、素朴な柄と呉須(ごす)の深い藍色が特徴です。下田地域から白い良質な土が取れたことが、近江下田焼の始まりといわれています。顔料である呉須の配合は、窯元に代々伝わる伝統的なものです。昔ながらの製法・絵柄を大切にしながらも、濃い藍色を生かしたシンプルなデザインからは、現代に通じる新しさも感じます。手に取った時に感じる温もりや柔らかさ、滑らかな口当たりは、機械には出すことができない手作業ならではの独特の丸み。約1,280度という高温で焼き締めているので割れにくく、電子レンジでも使用することができます。



こたえ  
と  
豆知識

だいこん  
A. 大根おろし  
ひとつひとつで立てた突起で大根をする  
ととてもおいしく大根がおろせるよ!

近江下田焼陶房  
〒520-3111 湖南市東寺2-11-9  
TEL:0748-77-7457

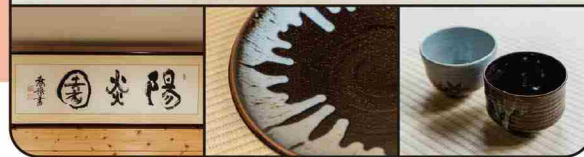
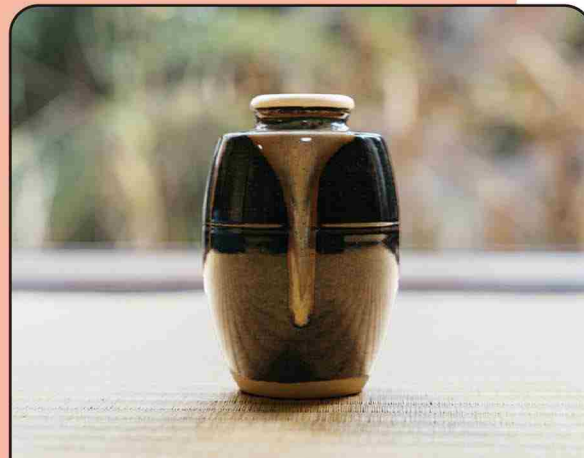
1個からオーダーを受け付けています。工房では、  
絵付け体験・作陶体験を行っています。



ホームページ  
QRコード



動画  
QRコード



ぜ ぜ やき  
膳所焼

大津市

和にも洋にも馴染む  
深い黒み

大津市で焼かれる陶器で、素朴な形と黒みを帯びた色合いが特徴で、とても薄く、軽い焼き物です。ねっとりとした細かい白土に、鉄錆のような色合いの金気釉を素地にかけ、その上から濃い黒釉や黄色の飴釉などをかけています。江戸初期、膳所焼は将軍家御用達の茶陶として、茶人 小堀遠州(こぼりえんしゅう)が「綺麗さび」という美意識を基に、指導し多くの茶入・水指が作られたのが始まりです。明治時代に一度途絶えましたが、大正時代に復興しました。遠州七窯の茶陶の一つとして名高く、茶入や水指に優れたものが多く見られます。「工芸」から「アート」作品へのブランディングを構築するために、現代アーティストとのコラボ作品の企画なども取り組んでいます。



こたえ  
と  
豆知識

ど  
A. 1,250度  
1,250度もの高い温度で焼くことで、  
ほかの焼き物に比べると強度があがるよ!

有限会社膳所焼窯元(陽炎園)  
〒520-0837 大津市中庄1-22-28  
TEL:077-522-6374

工房訪問は事前アポイント制となっています。  
詳しくは上記へお問い合わせください。



ホームページ  
QRコード



動画  
QRコード

くさ き ぞめ て くみ くみ ひも  
草木染手組組紐

大津市

草木で染めるところから始まる  
美しい組紐

絹100%、草木染め、手組みで作られている組紐です。草木染めで絹糸を染め、その糸を織ってまとめ、組台にセットして紐を組んでいきます。三角台・綾竹台(あやたけだい)・内記台(ないきだい)など組台によって組み方は異なります。江戸時代には町のあちこちで内記台を使って紐を組む音が響いていましたが、現在ではほとんど見られなくなり「幻の組台」といわれています。草木の染料には多くの不純物が含まれており、それによって、淡く渋みのある色が出ます。組紐は無数の糸を組み上げて作られており、丈夫で模様が美しいのが特徴です。古くは巻物の紐や袷染の紐、特に刀の下げ緒や武具に多く用いられてきました。現在では、帯締めや羽織紐に多く使われています。



こたえ  
と  
豆知識

まいろ  
A. ②黄色  
たま ちやらい うすかわ  
玉ねぎのあの茶色い薄皮から  
とても鮮やかな黄色が生まれるよ。

有限会社藤三郎紐  
〒520-0054 大津市逢坂1-25-11  
TEL:077-522-4065

組紐や染色の体験会を実施しており、スト  
ラップやハンカチの草木染めなどを体験で  
きます。詳しくは上記へお問い合わせください。



ホームページ  
QRコード



動画  
QRコード

おう み かん び し  
近江雁皮紙

大津市

文字を書くために生まれてきた和紙  
世界が絶賛する「紙王」

原材料である落葉樹の「雁皮(がんび)」の樹皮は繊維がとても細かいので、絹のようになめらかで光沢ある質感の紙が生まれます。美しいだけの紙ではなく、強靱で耐久力が強く、永久保存に耐えられるといわれています。害虫に強く変色しにくい文化財の補修にもよく用いられ、雁皮紙に書かれた文化財が数多く博物館に収蔵されています。しかし、雁皮の栽培は難しく、節を取り除くには通常の3倍の手間がかかります。雁皮を処理し、一枚ずつ和紙職人が漉(す)いていきます。とても薄い和紙なので、皺なく伸ばすのもかなり時間がかかります。



こたえ  
と  
豆知識

しよくん ゆび あと  
A. 職人さんの指の跡  
なんねん おな どうぐ おな つか かた  
何年も同じ道具、同じ使い方をして  
いるから、道具に指の跡ができたよ!

有限会社成子紙工房  
〒520-2111 大津市桐生2-14-26  
TEL:077-549-0323

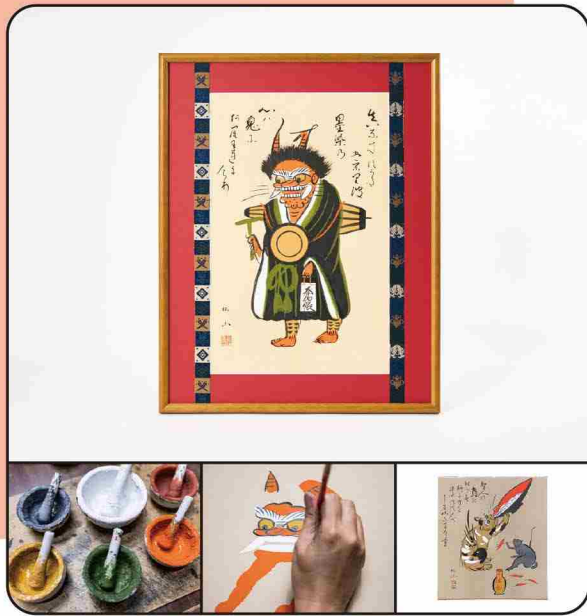
ネットショップ、紙小売り店でも購入可能です。  
詳細は上記へお問い合わせください。



ホームページ  
QRコード

KONAN





おおつえ  
大津絵

大津市

あえて江戸時代の風合いを再現  
考えさせられる絵柄が魅力

江戸時代に、土産物として描き売られていた民画が始まりです。当時安価だった和紙の半紙に泥を塗って補強し2枚つなげ、建築塗料などで描いていました。現代の塗料の方が色鮮やかで安価ではありますが、あえて手間ひまをかけ当時の雰囲気再現しています。当初は数百種類以上のモチーフがありましたが、売れる絵だけを描き続けた結果、代表的な「鬼絵」や「藤娘」など、およそ100種類が残りました。「猫とねずみ」の図柄は、あのピカソも所蔵したといわれています。ユーモラスで風刺のきいた絵柄、そして独特の鮮やかな彩色からは、ポップさも感じられます。首をひねって絵の意味を考える……。そんなふう、絵をじっくり楽しむことができるのが大津絵の魅力です。



こたえと豆知識

ひらぬいし A. 柊鱒  
もま  
ネズミの持っている魔よけの  
ひらぬいし  
柊鱒を怖がっているよ。

高橋 松山 (株式会社大津絵の店)  
〒520-0034 大津市三井寺町3-38  
TEL:077-524-5656  
店頭にて販売しています。  
詳しくは上記へお問い合わせください。



つづれにしき  
綴錦

守山市

美術品として愛されてきた  
最高級の織物

結納時の袱紗(ふくさ)や着物の帯、祭礼用の幕地や舞台綴帳など、ハレの日を彩る織物です。手織り物の中でも特に高い技術が求められるため、朝廷や徳川幕府に献上されるなど、日本最高峰の芸術品として愛されてきました。特徴的なのは、中指と薬指の爪をノコギリ状に研ぎ、糸を1本ずつ掻き寄せて複雑な模様を表現する「爪掻き本綴(つづ)れ」技法です。1日に1センチしか織れないような複雑な模様もあり、完成まで数か月かかるのも珍しくありません。人の手だからこそ生み出される美しい表情は、まるで筆で描いたよう。機械では決して表現できないグラデーションは、まさに最高級の織り技法です。



こたえと豆知識

A. シャトル  
いとおだ  
たて糸の間をこのシャトルが  
さゆうおうふく  
左右往復して、よこ糸を通すよ!

織匠【宗八】株式会社清原織物  
〒524-0011 守山市今市町136-1  
TEL:077-583-5711  
工房・オンラインショップ・  
セレクトショップなどで購入できます。



おにがわら  
いぶし鬼瓦

大津市

人々の願いを込めた瓦が  
建物を彩る

小田原城や清水寺、本能寺など、全国各地の社殿等で使われている瓦です。「鬼師」と呼ばれる職人が、土づくりから図面引き・成形・乾燥・窯焚きまで行っています。焼成が終わった後に瓦をいぶすことで、「いぶし銀」といわれる自然に近い色になるのが大きな特徴です。また、瓦を中まで炭化させることで、強靱さも増します。瓦は人間が作るものの中で一番長く保つといわれ、もとは建物を風雨から守るためのものでした。それに装飾を施したのが鬼瓦です。厄払いや魔よけのための鬼面、七福神や宝珠などの縁起物、家紋など、様々なモチーフがあります。どれも人々の願いが込められたものです。



美濃邊鬼瓦工房  
〒520-0104 大津市比叡辻1-10-8  
TEL:077-578-5333  
「滋賀の名品」等のウェブサイトで購入できます。  
また、滋賀県内の道の駅でも販売しています。



こたえと豆知識

ぎんいろ A. 銀色  
なか  
中までちゃんと職人技で  
いぶされて銀色だよ。

滋賀を楽しむコンテンツ紹介

知る  
滋賀県の  
伝統的工芸品について

滋賀県の伝統的工芸品の滋賀県庁公式ページです。イベント情報、補助金等の県公式情報はこちらから。  
公式パンフレットのダウンロードもこちらから！



映像  
滋賀県  
モノづくり振興課公式

滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課の公式YouTubeチャンネルです。  
滋賀県の伝統的工芸品を映像で紹介。英語バージョンも公開しています。



体験  
シガリズム体験

滋賀の時間の流れ、営み、歴史、伝統などをより深く体験・体感することで心のリズムを整える旅「シガリズム」の体験観光コンテンツを紹介。伝統的工芸品の体験も盛りだくさん！



観光  
滋賀・びわ湖  
観光情報

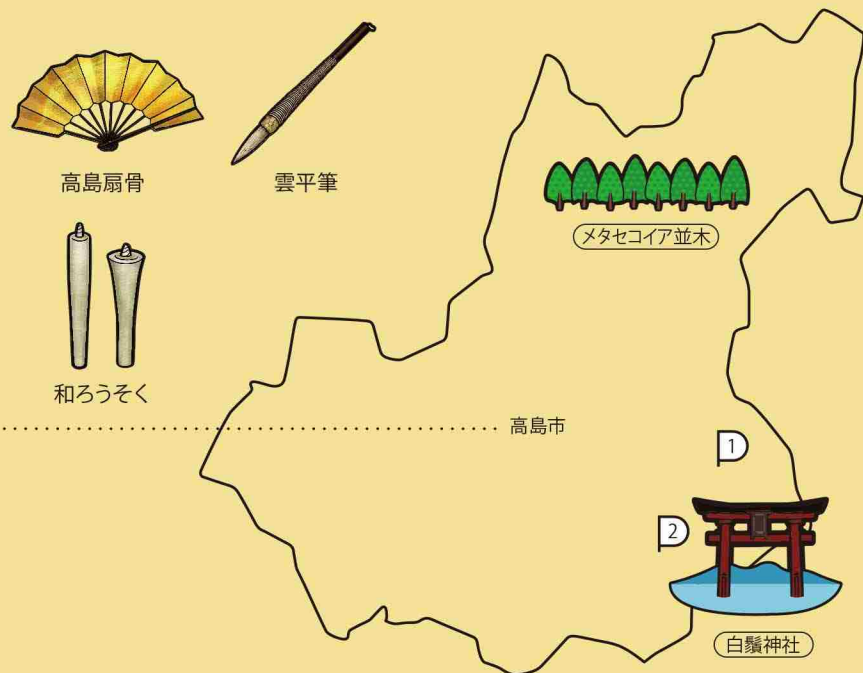
滋賀県の公式観光サイト『滋賀・びわ湖観光情報』。観光スポット、イベント、グルメ、ショッピング、宿泊情報など、滋賀への旅行やお出掛けに役立つ情報が満載！



# KOSEI 湖西

## 高島市

琵琶湖の北西部に位置し、古来より京都と北陸を結ぶ街道として栄えた地域。そのため、京都とのつながりも多く、京扇子には欠かせない高島扇骨や、献上品でもあった書道用具、和ろうそくなどが有名です。「琵琶湖とその水辺景観」が日本遺産に認定され、文化的景観として、白鬚神社やシコブチ信仰が構成遺産として選ばれています。



### 体験・見学施設等



1 高島市観光物産プラザ  
(たかしま・まるごと百貨店)  
高島市新旭町旭1-10-1 1F TEL:0740-25-5500



2 道の駅 藤樹の里あどがわ  
高島市安曇川町青柳1162-1  
TEL:0740-32-8460 高島扇骨



### こたえと豆知識

せんす ほね おつか しよくにん  
A. 扇子の骨を扱ってる職人さんのこと  
むかし せんごつしよくにん  
昔は、たくさん扇骨職人さんがいて  
たが よ あ  
お互いにそう呼び合ってたよ!

滋賀県扇子工業協同組合  
〒520-1217 高島市安曇川町田中89  
TEL:0740-32-1580  
道の駅「藤樹の里あどがわ」で購入や  
扇子づくり体験をすることができます。



動画 QRコード

### 雲平筆

#### 高島市

用途に合わせた毛を選ぶところから始まる  
400年続く伝統技法

筆の中心となる芯毛を上質の和紙で巻き固め、その周りに上毛(うわげ)をかけて穂を作る、400年の歴史を持つ筆の技法です。まず、筆の用途に合わせて原毛を選びます。イタチやウサギの毛、馬の尻尾、ヤギの鬃など、候補はおおよそ20種類。毛が決まると、その油を取るために灰を揉み込みます。櫛をかけ、擦れ毛を取り除き、長さを切り揃え、数日かけて乾かし、一番の特徴である和紙で巻く工程へ。この巻き方は一子相伝です。接着剤がない時代の作り方なので、最後には麻糸できつく結んで留めます。一般的な筆よりもコシが強く、力強い筆線が出るのが特徴で、多くの書道家に愛用されています。

### こたえと豆知識

だいぶつさま め が  
A. 大仏様の目を書くよ  
だいぶつさま め か つか  
大仏様の目を書くのに使われるから  
おお  
こんなに大きいんだね!

筆師第15世 藤野 雲平 (攀桂堂)  
〒520-1224 高島市安曇川町上小川1190-6  
TEL:0740-32-0236  
店頭のほか、ネットショップでも購入可能です。  
また、予約制の工房見学も実施しています。事前  
にお電話の上お越しください。



ホームページ QRコード



動画 QRコード



## わ 和ろうそく

高島市 / 長浜市

100%植物性のろうそく  
人にも環境にもやさしい灯り

ウルシ科の植物である榧(はぜ)の実から搾った榧蠟(はぜろう) 100%のろうそくです。植物性のろうそくは、石油系のろうそくと比べて環境負荷が少なく、近年注目が集まっています。「生蠟手掛け製法(しょうろうてがけせいぼう)」は伝統的な製法で、現在、この技を持つ職人は世界に10人ほどといわれています。40度に保った蠟を素手ですくい取り、芯を右手で回転させながら塗り重ねていきます。「塗る」「乾かす」を繰り返すことで、芯の周りに年輪状に蠟の層ができていきます。榧蠟を使ったろうそくは、炎の揺らぎが美しく、心情に共鳴して揺れ動くように感じられます。また、煙やおいが少なく、人にも環境にもやさしいろうそくです。



こたえと豆知識  
A. てのひらではかる  
てのひらに何本乗るかで  
太さを決めているよ。

有限会社大興：〒520-1623 高島市今津町住吉2-5-8  
TEL:0740-22-0557  
北村 雅明：〒526-0023 長浜市三ツ矢町2-22  
TEL:0749-62-1074  
工房・オンラインショップ・  
セレクトショップなどで購入できます。



ホームページ  
QRコード



動画  
QRコード

## 滋賀の伝統的工芸品

発行：滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課  
滋賀県大津市京町4丁目1番1号  
TEL:077-528-3791

写真提供：彦根城・琵琶湖・金剛輪寺・白鬚神社・浅井町歴史民俗資料館・長浜曳山祭・日吉山王祭・万灯祭・愛荘町立歴史文化博物館・彦根城博物館・るーぶる愛知川・びわ湖大津館(旧琵琶湖ホテル)・一二坊温泉ゆらら / (公社)びわこビジターズビューロー、滋賀県立陶芸の森 / 公益財団法人滋賀県陶芸の森、八幡掘まつり / 近江八幡観光物産協会、琵琶湖疏水・大津祭 / びわ湖大津観光協会、メタセコイア並木・高島市観光物産プラザ(たかしま・まるごと百貨店)・道の駅藤樹の里あどがわ / びわ湖高島観光協会、圓滿院(大津絵美術館) / 圓滿院

令和5年(2023年)3月初版発行

## 伝統的工芸品について

長い歴史の中で培われ、地域の人々の生活と密着しながら受け継がれてきた工芸品を、滋賀県知事、経済産業大臣が伝統的工芸品として指定しています。

### 知事指定 滋賀県伝統的工芸品

伝統的工芸品の振興を図るため、「滋賀県伝統的工芸品指定要綱」に基づき次の要件を満足するものについて知事が指定します。現在、37品目、43製造者の方が指定を受けています。



01 主として日常生活に使われるもの

02 製造工程の主要部分が手工的であるもの

03 伝統的な技術または技法により製造されるもの

04 伝統的に使用されてきた原材料を使い製造されるもの

### 経済産業大臣指定 伝統的工芸品

昭和49年5月に制定された「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づき経済産業大臣が指定するもので、下記の要件を満足することが必要です。県内では、彦根仏壇、信楽焼、近江上布の3工芸品が指定されています。全国では、伝統的工芸品237品目、伝統的工芸材料2品目、工芸用具1品目が指定されています。

伝統マーク / 承認番号R5-059

※この伝統マークは、経済産業大臣指定伝統的工芸品のシンボルマークです。

01 主として日常生活に使われるもの

02 製造工程の主要部分が手工的であるもの

03 伝統的な技術または技法により製造されるもの

04 伝統的に使用されてきた原材料を使い製造されるもの

05 一定の地域で産地形成しているもの(10企業以上、または30人以上の人が製造に従事)

# 伝統的工芸品一覽 (経済産業大臣指定伝統的工芸品を含む)

区分	工芸品名	製造業者名	製造地域	電話番号	指定	掲載頁	
織物・染織・組みひも・刺繍など	近江上布★	滋賀県麻織物工業(協)	愛荘町	0749(42)3246	国	19	
	網織紬	奥田武雄	長浜市	0749(76)0733	②	10	
		奥田重之		0749(76)0369			
	秦荘紬	川口織物(有)	愛荘町	0749(37)3091	①	20	
	綴錦	織匠[宗八](株)清原織物	守山市/米原市	077(583)5711	①	32	
	正藍染	植西恒夫	湖南省市	0748(75)0128	②	28	
	手織真田紐	西村操	東近江市	0748(22)2652	②	22	
	草木染手組組紐	(有)藤三郎紐	大津市	077(522)4065	②	29	
	近江刺繍	近江美術刺繍工芸社	愛荘町	0749(42)2686	②	20	
	彦根	(有)青木刺繍	彦根市	0749(22)1258	⑥	18	
	楽器系		西山生糸組合	長浜市	0749(82)4114	①	10
			木之本町邦楽器原系製造保存会		0749(82)2935		
			丸三八シモト(株)		0749(82)2167		
	鼻緒	滋賀県花緒サンダル組合	長浜市	0749(62)1162*1	①	11	
特殊生糸	西村英雄	長浜市	0749(76)0236	①	11		
押絵細工	東川雅彦	近江八幡市	0748(32)2254	①	24		
近江真綿	近江真綿振興会	米原市	0749(54)0672*2	②	14		
輪奈ビロード	(株)タケツネ	長浜市	0749(62)0310	⑧	12		
陶器	信楽焼★	信楽陶器工業(協)	甲賀市	0748(82)0831	国	27	
	膳所焼	(有)膳所焼窯元陽炎園	大津市	077(522)6374	②	30	
	近江下田焼	近江下田焼陶房	湖南省市	0748(77)7457	⑥	29	
	(再興)湖東焼	中川一志郎	彦根市	0749(24)6711	⑧	18	
木・竹工品	提灯	かさぜん中川澄美	長浜市	0749(62)1187	⑦	12	
	ろくろ工芸品	片山木工所	長浜市	0749(62)9804	①	13	
	木製桶樽	村田茂朋	竜王町	0748(57)0650	②	25	
	高島扇骨	滋賀県扇子工業(協)	高島市	0740(32)1580	④	34	
	上丹生木彫	上丹生木彫組合	米原市	0749(54)0267	⑤	15	
	八幡丸竹工芸品	(有)竹松商店	近江八幡市	0748(33)3268	⑦	24	
	木珠(高級木製数珠玉)	(株)カワサキ	近江八幡市	0748(33)5101	⑨	25	
仏壇	彦根仏壇★	彦根仏壇事業(協)	彦根市	0749(24)4022	国	17	
	浜仏壇	浜仏壇工芸会	長浜市	0749(62)2414	①	13	
	鎗金具	辻清	長浜市	0749(62)3368	④	14	
和紙・文具・その他	近江雁皮紙	(有)成子紙工房	大津市	077(549)0323	②	30	
	雲平筆	筆師第15世藤野雲平	高島市	0740(32)0236	①	34	
	和ろうそく	(有)大與	高島市	0740(22)0557	②	35	
		北村雅明	長浜市	0749(62)1074	⑥		
	太鼓	正木専治郎	愛荘町	0749(43)3072	②	21	
		二代目杉本才次		0749(43)5504			
	大津絵	高橋松山	大津市	077(524)5656	②	31	
	長村梵鐘	(株)金壽堂	東近江市	0749(45)0003	⑪	22	
	小幡人形	細居源悟	東近江市	0748(48)4075	⑤	23	
	愛知川びん細工手まり	伝承工芸愛知川びん細工手まり保存会	愛荘町	0749(42)4114	⑨	21	
いぶし鬼瓦	美濃邊鬼瓦工房	大津市	077(578)5333	⑩	31		
神輿	(株)さかい	野洲市	077(587)1178	⑩	28		
江州よしすだれ	(株)タイナカ よし藤田井中憲一	東近江市	0748(45)0336 0748(45)0165	⑪	23		

※1 原田和装(株)方  
 ※2 近江真綿工房 原田方

- 1) ★は、経済産業大臣指定の伝統的工芸品  
 2) 経済産業大臣指定:3品目、3件 / 知事指定:37品目、43件  
 3) 滋賀県伝統的工芸品指定の変遷  
 ① 第1次指定(昭和59年度):18品目、28件  
 ② 第2次指定(昭和60年度):18品目、22件  
 ③ 第3次指定(昭和61年度):4品目、4件  
 ④ 第4次指定(平成3年度):4品目、4件  
 / 解除:3品目、4件(竹刀、下田焼、木製桶)  
 ⑤ 第5次指定(平成6年度):3品目、3件  
 / 解除:6品目、6件(高宮ささら、和ろうそく、提灯、揉唐紙、竹かご、お多賀杓子)  
 ⑥ 第6次指定(平成10年度):3品目、3件  
 / 解除:2品目、3件(竹刀、鎗金具)  
 ⑦ 第7次指定(平成14年度):3品目、3件  
 / 解除:3品目、4件(網織紬、高島虎斑石硯、竹製花籠)  
 ⑧ 第8次指定(平成18年度):2品目、2件  
 / 解除:4品目、5件(江州燈籠、竹皮細工、提灯、網織紬)  
 ⑨ 第9次指定(平成22年度):2品目、2件  
 / 解除:3品目、3件(八田焼、竹刀、甲良白)  
 ⑩ 第10次指定(平成26年度):2品目、2件  
 / 解除:4品目、4件(本藍染、高島虎斑石硯、和ろうそく、八幡瓦(鬼瓦))  
 ⑪ 第11次指定(平成30年度):2品目、3件  
 / 解除:2品目、2件(竹根細工、梵鐘)  
 ⑫ 第12次指定(令和3年度):0品目、0件  
 / 解除:2品目、2件(ピロード、ろくろ工芸品)

# 伝統工芸士一覽

伝統工芸士は経済産業大臣指定の伝統的工芸品の製造に12年以上従事する者のうち、  
 (財)伝統的工芸品産業振興協会が実施する伝統工芸士試験の合格者に与えられる称号です。  
 県内の伝統工芸士は下記の方々です。(令和4年4月現在)

## 信楽焼

氏名	認定部門	認定年度	住所
小谷光二	成形	平成3年度	甲賀市
奥田英行(英山)	総合	平成3年度	甲賀市
富増純一(壺久郎)	総合	平成3年度	甲賀市
大原薫	総合	平成3年度	甲賀市
奥田文悟(文五郎)	総合	平成10年度	甲賀市
宇田隆和(左平)	総合	平成10年度	甲賀市
今井宏重(重蔵)	成形	平成10年度	甲賀市
小西啓吾(紫香)	成形	平成10年度	甲賀市
松本好広	成形	平成10年度	甲賀市
今井晃治(日光)	成形	平成10年度	甲賀市
谷敏隆	成形	平成10年度	甲賀市
高原誠治	総合	平成18年度	甲賀市
奥田英明	総合	平成18年度	甲賀市
小川顕三	総合	平成18年度	甲賀市
川口隆之	総合	平成18年度	甲賀市
村井信幸(信瑛)	総合	平成18年度	甲賀市
奥田康人	総合	平成18年度	甲賀市
徳地祐二	総合	平成18年度	甲賀市
嶋田浩造	総合	平成18年度	甲賀市
篠原希	総合	平成18年度	甲賀市
吉田勝	総合	平成18年度	大津市
神崎倍充	総合	平成18年度	甲賀市
谷信男	総合	平成18年度	甲賀市
今井廣(廣)	総合	平成24年度	甲賀市
小川記一	総合	平成24年度	甲賀市
藤本秀俊(藤本秀)	総合	平成24年度	甲賀市
松吉希美子(マツキチ)	総合	平成24年度	湖南省市
辻周	総合	平成24年度	甲賀市
古谷剛敏	総合	平成24年度	甲賀市
釘田誠史	総合	平成24年度	三重県伊賀市
上田宗	総合	平成24年度	甲賀市
藤原純(古仙堂)	総合	平成24年度	甲賀市
大西左朗(左朗)	総合	平成24年度	草津市
上田和弘(彩煌)	総合	令和3年度	甲賀市
上田直美	総合	令和3年度	甲賀市
高瀬陽平	総合	令和3年度	甲賀市
澤井邦浩	総合	令和3年度	三重県伊賀市

## 近江上布

氏名	認定部門	認定年度	住所
中村茂	仕上	平成5年度	東近江市
大西實	総合	平成16年度	彦根市
大橋富美夫	仕上	平成16年度	東近江市
大橋政男	仕上	平成16年度	東近江市
上田美智男	仕上	平成16年度	東近江市
山西盛隆	製織	平成27年度	東近江市
西村善樹	染色	平成27年度	彦根市
長谷川佳宏	仕上	平成27年度	東近江市
東岸健太郎	仕上	平成27年度	東近江市
高井健夫	仕上	平成27年度	蒲生郡日野町
中村文郎	仕上	平成27年度	東近江市
川口のり子	意匠	平成27年度	愛知郡愛荘町
伊谷寿康	仕上	平成27年度	東近江市

## 彦根仏壇

氏名	認定部門	認定年度	住所
大橋和夫	木地	昭和63年度	彦根市
葉茂政宏	木地	平成5年度	彦根市
関新二郎	宮殿	平成5年度	彦根市
田中正司	宮殿	平成5年度	彦根市
寺村勇	漆塗	平成5年度	彦根市
元持久雄	漆塗	平成5年度	犬上郡豊郷町
中川龍吉	蒔絵	平成7年度	彦根市
清水隆司	漆塗	平成10年度	彦根市
宮本美弘	箔押	平成10年度	彦根市
磯部二三男	箔押	平成10年度	愛知郡愛荘町
田中洋一	金具	平成10年度	彦根市
大橋政次郎	金具	平成10年度	彦根市
舟越丈二	蒔絵	平成16年度	彦根市
木村数茂	金具	平成17年度	彦根市
細居宏次	木地	平成17年度	彦根市
北村順治	蒔絵	平成21年度	彦根市
中村隆一	箔押	平成21年度	彦根市
井尻一茂	彫刻	平成24年度	米原市
山本輝夫	蒔絵	平成24年度	東近江市
大塚勉	漆塗	平成25年度	彦根市